

2024年6月15日(土)
楽しい俳句教室③

とくに「梅雨」に入って良い時期なのに毎日晴天続き。
 蒸し暑い天気でしたが、カニやトンボを見つけて大はしゃぎの吟行♪



美味しそうなイヌビワねえ



なにこの虫!?…虫?



「山滴る」季節



暑かったのでお茶が沁みます



白く輝くスイレンを鑑賞
 トンボも優雅に舞います



空梅雨湖動く舟漁人照らす
 蜻蛉生る水のいづちに触れにくる
 蜻蛉生るやがてはかき風に乗る
 雨待ちて穴から覗く赤手鮎
 梅雨夏句作の合々苦しみ
 梅雨晴間爽快にして風まとい
 夏蛙鳴きたる道は風すす
 夏空に睡蓮の花輝けり
 砂浜に粒々の山解虫のあと

今回は学んだのは季語の持っている本質と自然の美について。
 そのものもつ美しさを詠むことが上達の力ギのようです。